

<平成 27 年度>

子ども青少年部の取り組み実績

子ども青少年課
子育て支援室子育て事業課
子育て支援室子育て運営課
子育て支援室保育幼稚園課
子ども総合相談センター

I 重点施策・事業

◆子どもの貧困対策の推進

貧困の連鎖防止など子どもの貧困対策の総合的な展開を図るため、関係部署で構成するプロジェクトチームを設置し、より効果的な施策の実施に向けた検討を進めます。

実績

- ・11月に、子どもの課題対策検討プロジェクトチームを設置し、子どもの貧困に関する本市の現状と課題や、子どもに関連する事業・取り組みを整理し、子どもの居場所づくりなど、今後、取り組むべき対策を検討した。

◆子どもに関する相談窓口の一元化

保護者の子育てに対する不安・孤立感などを取り除き、安心して楽しく子育てできるよう、また、子どもに対する切れ目のない支援を行えるよう、相談体制の整備と強化を図るため子どもに関わる相談窓口の一元化に向けた取り組みを進めます。

実績

- ・子どもに関する市民からの相談にワンストップで対応できるよう、平成28年4月より、子ども総合相談センターを設置し、まずは、子ども青少年部に係る相談窓口の一元化が図れるよう体制を整えた。

◆待機児童対策の推進①

年度当初の待機児童ゼロに向け、認可保育所の増改築や、閉園した樟葉南幼稚園及び桜丘幼稚園の有効活用による私立保育園の分園、幼保連携型認定こども園、小規模保育事業・公立保育所の民営化などによる定員増の取り組みを進めます。

また、保育士不足に伴う人材確保を図るため、保育士資格取得支援制度を整備します。

実績

- ・平成28年4月に、私立保育園及び認定こども園の増改築や閉園した幼稚園の有効活用などにより254名の定員増を実施し待機児童ゼロとした。
- ・保育士不足に伴う人材確保の取り組みとして、私立保育園に対する保育士資格取得支援事業を実施するとともに、保育士募集記事を広報へ掲載するなど、公私立保育所(園)における保育士の確保に繋がった。

◆待機児童対策の推進②

保育所等において、通年にわたって児童の受け入れができる体制について、保育ニーズを検証した上で、整備を検討します。

実績

- ・北部、南部地域の保育需要の高まりに対応するため、空きスペースのある公共施設(北部支所・旧枚方区検察庁舎)を活用した小規模保育事業の実施に向けて取り組んだ。引き続き、保育需要の動向を見極め、待機児童対策の検討を行っていく。

◆公立保育所の民営化

「公立保育所民営化計画（中期計画）」に基づき、平成27年4月に中宮及び北牧野保育所の民営化を実施したことに伴い、両保育所の定員増に向けた増改築の取り組みを進めます。

実績

- ・4月に民営化した北牧野保育園及び中宮まぶね保育園において、定員増に向けた施設整備を実施し、平成28年当初から各30人の定員増を行った。

◆市立枚方保育所及び香里団地保育所のリニューアル整備

保育需要見込み量の多い南部地域の更なる対応を図るため、枚方保育所の建替えに向けた設計業務を、また定員規模に応じた保育環境の充実を図るため、香里団地保育所の大規模改修を、それぞれ進めます。

実績

- ・平成30年4月からの定員増に向けた枚方保育所の建替えに係る設計業務を行った。
- ・香里団地保育所の大規模改修を行い、保育環境の向上を図った。

◆児童発達支援センターの整備

平成27年3月に策定した「（仮称）枚方市立児童発達支援センター整備計画」に基づき、本市の児童発達支援センターである幼児療育園とすぎの木園の両施設の機能を有する新たな同センターの整備に向けた設計業務に着手します。

実績

- ・整備に向けて、4月、7月、10月に、整備予定地の地域住民への説明会を行うとともに、関係機関等との協議を重ねた結果、地域自治会から一定の理解を得た。

◆親子支援プログラムの推進・拡充

児童虐待の予防・防止を図るため、引き続き、子どもへの適切な関わり方について学び、親向け支援プログラムや、子どもの感情コントロー

ル等を育む、子ども向け支援プログラムを実施するとともに、職員のファシリテーター養成にも取り組みます。

実績

- ・親支援プログラム「トリプルP」を2グループ実施するとともに、就労している父母等が参加しやすいように日曜日に子どもとの関わり方を学ぶ市民向け講座を開催した。
- ・子ども支援プログラム「ファンフレンズプログラム」を、公立保育所2か所で実施した。また、保育士を対象としてファシリテーター養成講座を行い、人材の育成を図った。

◆第3次ひとり親家庭等自立促進計画の策定

ひとり親家庭等を取り巻く環境が、依然として厳しい状況にある中、「第2次ひとり親家庭等自立促進計画」の計画期間が、平成27年度で終了します。これまでの取り組みを検証するとともに、その評価を反映しつつ、多様なニーズに応じたさらなる支援を計画的に展開するため、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、平成28年度からを計画期間とする「第3次ひとり親家庭等自立促進計画」を策定します。

実績

- ・3月に「第3次枚方市ひとり親等自立促進計画」を策定し、「ひとり親家庭等の誰もが未来に希望がもてるまち」を基本理念とし、今後5年間の取り組みを定めた。

◆子ども・若者育成事業の推進

ひきこもり等の子ども・若者に切れ目のない支援を総合的に推進するため、地域支援ネットワークのさらなる連携強化に取り組むとともに、社会全体のひきこもり等への理解を促すため、周知・啓発事業にも積極的に取り組みます。

実績

- ・青少年の現状やひきこもり支援等について周知・啓発を図るため、市民連続講座を5回開催し、延べ215人の市民が参加した。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
10.困難を抱える子ども・若者を支えるネットワークづくり	「枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議」の連携を更に深め、より実効性のある総合的な支援を進める。

実績

- ・ひきこもり等に関わる関係者による全体会を6回開催し、情報の共有化など連携を図った。また、個別の支援について検討を行うケースカンファレンスを3回開催し、支援方針の共有化を図った。

改革課題	取り組み内容・目標
38.保育所等の民営化	<ul style="list-style-type: none"> ・宮之阪保育所（平成26年4月） ※平成27年4月：30人定員増 ・中宮保育所（平成27年4月） ・牧野保育所（ 〃 ） ※平成28年4月：各30人定員増予定

実績

- ・4月に、北牧野保育所及び中宮保育所を民営化し、平成28年度当初の定員増に向け、施設の増改築を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
19③.閉園幼稚園施設の活用	施設整備等の準備を進め、保育園分園（樟葉南・桜丘）は実施計画に基づき平成27年10月の開園をめざす。

実績

- ・閉園した樟葉南・桜丘幼稚園を活用した私立保育園分園（くずは光の子・村野）の整備を行い、10月に開設し、合わせて50人の定員増を図った。

改革課題	取り組み内容・目標
47.保育所の収入対策	債権回収課との連携、口座振替の勧奨、コンビニ収納の導入などにより徴収率の向上を図る

実績

- ・コンビニ収納を活用するとともに、債権回収課と連携して、徴収に取り組んだこと等から、前年度に比べて、保育所保育料の徴収率は0.1ポイント向上した。

<改革・改善サイクルに係る対応>

改革課題	取り組み内容・目標
33.技能労務職員等の配置基準の見直し	技能労務職員等が従事する業務について、行政の役割と責任やセーフティネットの確保等の視点から整理し、それを踏まえた今後の方向性について、基本的な考え方を示す。

実績

- ・2月に策定された「技能労務職員が従事する業務について《考え方》」の中で、児童福祉施設営繕業務、児童福祉施設用務業務、児童福祉施設調理業務の当面の対応や今後の方向性、将来的な職員配置の考え方を示した。

事務事業	取り組み内容・目標
地域子育て支援拠点事業	効果的で満足度の高い講座・講習等、魅力的な事業展開を図ることで利用者のさらなる増加をめざす。

実績

- ・利用者の声や子育て支援に関する課題を踏まえた講座、講演等を企画するとともに、ホームページ等を活用して事業の周知を行った。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
共有ドライブやグループウェアを活用した情報の共有	グループウェアのスケジュール管理を活用し、効率的な情報の共有化を図る。
実績	
・朝礼などでスケジュールの確認を行うとともに、グループウェアのスケジュール管理を活用し、効率的な情報の共有化を図った。	

テーマ	取り組み内容・目標
保育サービスの相談・受付スペースの充実	より丁寧かつ落ち着いた相談・受付体制を構築するため、来庁者環境の充実を図る。(カウンター増設・キッズコーナー設置等)
実績	
・来庁者がゆったりとした雰囲気の中で相談できる環境づくりに努めた。従来の絵本コーナーに加え、寄贈を受けた遊具等を配置したキッズコーナーを整備することで、子どもが退屈せず、保護者がじっくりと相談できる待合スペースの充実を図った。	

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆平成 27 年 4 月から中宮・北牧野保育所民営化により単年度で約 1 億 5660 万円(約 87 万円×90 人×2 か所：平成 25 年度決算ベース)の経費削減を実現しました。

実績

- ・5・6 か所目となる北牧野保育所及び中宮保育所の民営化により、一般財源で約 1 億 3,140 万円の経費削減を行うことができた。(直近決算ベース数値((平成 26 年度))を用いて算出)

- ◆私立保育園の増改築や幼保連携型認定こども園の増築を促進するため、国の待機児童解消加速化プランの採択を受け、「安心子ども基金特別対策事業補助金」を活用し、約 10 億 8800 万円の財源を確保します。(補助率：国 2/3、市 1/12、事業者 1/4)

実績

- ・保育所(園)の整備において、安心子ども基金特別対策事業補助金の待機児童解消加速化プランの採択を受け、約 8 億 9,000 万円の財源を確保し、8 か所の整備を行った。

- ◆市立枚方保育所の建替えを行うにあたり、国土交通省所管の社会資本整備総合交付金を活用し、財源を確保します。

実績

- ・2 月に採択を受けた、枚方保育所建替え事業を含めた社会資本整備総合交付金にかかる整備計画(枚方市駅周辺地区)に基づき、枚方保育所建替え事業費のうち設計費の財源を確保した。(18,663 千円)

- ◆幼児教育の充実を図る施策の新たな枠組みを構築するにあたり、子ども・子育て支援新制度の施行に伴い廃止した「私立幼稚園幼児保育助成金」にかかる予算を活用するなど、効率的な予算編成に努めています。

実績

- ・子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、公私立幼稚園等の保育料を、地域の実情や保育所の保育料と均衡を図るため、国の基準額より低く設定するとともに、新制度に移行しない幼稚園については私立幼稚園就園奨励費補助金に市の独自加算を行った。これらの財源に「私立幼稚園幼児保育助成金」の廃止による削減額等を活用した。

IV 組織運営・人材育成

- ◆職員全員が部の運営方針に基づく組織目標の共有化を図るとともに、各職場において課題解決に向けた取り組みを進めます。

実績

- ・職員全員が部の運営方針に基づく組織目標の共有化を図ることにより、各職場において課題解決に向けた取り組みを進め、施策推進を図った。

- ◆業務改善制度に基づき、各職場での取り組みテーマを設定し、効率的・効果的な事務執行を行うなかで、職員の意識改革や人材育成を図っていきます。

実績

- ・4月からの子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、新たに発生した事務を安定的かつ定例的に処理できるよう、各種様式を工夫するなど業務改善に繋げた。
- ・各業務に対する処理方法を統一できるよう情報共有を図り、効率的・効果的な事務執行を行うなかで、職員の意識改革や人材育成を図った。

- ◆子育て支援の要となる保育所（園）・認定こども園・小規模保育事業や児童発達支援センターなどにおける保育・療育業務、また、高い保育需要下にあるその児童福祉施設の受付業務、さらには、複雑多様化する児童家庭相談、ひきこもり等相談、ひとり親家庭相談などの相談業務、それぞれに的確かつ適切に対応できるよう、独自研修を重ねるとともに、あらゆる研修機会を捉え、職員の専門性の向上を図ります。

実績

- ・障害児保育研修など保育の質や職員の専門性の向上等を図るため、公私立保育所（園）・認定こども園等が参加した研修を実施した。

- ・子ども総合相談センターにおける専門相談員の資質向上を図るため、「アウトリーチ（訪問支援）研修」、「母子・父子自立支援員研修会」等に参加した。
- ・児童虐待事案に適切に対応できるよう、虐待対応専門研修や臨床心理士研修を計12回実施するとともに、枚方市児童虐待問題連絡会議の啓発活動として、関係機関向け研修を2回、市民向け講演会を1回実施した。

V 広報・情報発信

- ◆公私立保育所（園）や認定こども園に設置している掲示板等を活用し、各施設で取り組んでいる地域子育て支援行事のチラシ等を掲示し、情報発信の充実を図ります。

実績

- ・公私立保育所（園）や認定こども園の掲示板等や市のホームページを活用し、情報を掲載するとともに、近隣公共施設でチラシを配布し、情報発信に努めた。

- ◆母子・父子・寡婦福祉資金がひとり親家庭等の支援の必要な方に有効に活用されるよう、広報・ホームページ、ちらしの配布等制度の周知を行います。

実績

- ・母子・父子・寡婦世帯が利用できる各種制度について記載したパンフレットを作成するとともに、広報・ホームページにも掲載した。また、高等学校へのパンフレット設置など効果的な周知方法について検討を行った。